

令和 8 年4月15日提出

## 第160回忌土橋貞恵翁祭

標記について、次のとおりお知らせします。

日時	令和 8 年 5 月 8 日(金) 10時00分～11時00分
場所	諫早市立森山東小学校体育館
内容	<p>土橋貞恵翁祭は、主催は森山地域の小中学校や自治会等で構成された「土橋貞恵翁祭実行委員会」で、毎年、貞恵翁の命日である5月9日に開催している地域行事。</p> <p>※今年は、5月9日が休日のため5月8日に開催</p> <p>また、今回は160回忌の記念事業で、式典の司会を諫早東高等学校の生徒が行い、同じく高等学校教諭、加々良先生に独唱いただく予定です。</p> <p>式典後に、森山地域の小中学校が持ち回りで発表を行っており、今年は森山東小学校による発表を予定している。</p> <p>土橋 貞恵翁(1776-1865)-----</p> <p>土橋多助は、安永5年(1776)諫早長田に生まれ、のちに「多助ぼっさん」の名で親しまれるようになった、社会奉仕の先覚者である。</p> <p>はじめ多良岳の金泉寺で読み書きを学び、後に佐賀藩の諫早家屋敷に仕えた。何事にもまじめに立ち働いたため信用も厚く、慕われていた。</p> <p>その後、長崎の医者吉松道碩に入門。13年かけてオランダ医学を学び、「土橋永春」の名をもらう。</p> <p>文化2年(1805)森山杉谷の地で開業した。自らの生活は常に質素にし、貧しい患者を救い、「医は仁術なり」を地で行く慈善徳行の人であった。医療で得た財は、石橋の架橋、道路の改修、溜め池の築造等の社会奉仕にすべてを還元した。</p> <p>後に、諫早領主は、数々の善行に報いるため、「貞恵」の称号を授けた。</p> <p>稀世の偉人、土橋多助は晩年、仏門に入り(知足庵)、90歳の長寿を全うした。</p>
問い合わせ先	諫早市 森山支所地域総務課 有川 電話番号:0957-36-1111(内線 73-108) E-mail:moriyama_somu @city.isahaya.nagasaki.jp
担当課	同上
備考 (記事解禁日等)	写真・映像撮影などに関しまして一部、配慮いただくことがございますので、取材にお越しの際は事前にご連絡をいただきますよう、お願いいたします。

